

## 授業のユニバーサルデザイン化の研究 ～伝え方の工夫～

小田原市立千代中学校

### 1 事業の目的

本校は教育目標を「自ら学び、主体的に判断し、行動できる生徒の育成」とし、これからの時代にたくましく生き抜き、未来を拓く力を育てることをめざし、教育活動に取り組んでいる。昨年度、横断的学習の実践を1時間の授業で終わらせず、その後につながっていくように教科と教科、学年と学年をつなげる手立てを研究し、教師の教科間や学年間のつながりへの意識の一層の深化を図る研究を進めてきた。研究を深化させる過程で必然的に「学びやすい環境」や「わかりやすい授業」のあり方についての関心が高まったため、今年度からユニバーサルデザインの視点と合理的配慮について重点をおき、研究を進めることとした。ユニバーサルデザイン化された授業を行うことで、生徒の学習意欲の向上や考え方の多様性が生まれることをめざし、学校教育目標の具現化を図っていききたい。

### 2 事業の内容

#### ☆授業のユニバーサルデザイン化にさまざまな面からせまり教育活動を行う

- (1) 「説明（授業の流れ）」「板書」「教材」の3グループに分け、授業のユニバーサルデザイン化を考えていく。（校内研究と連携）
  - ・三年間で全職員が三つの面からユニバーサルデザイン化にせまる。
  - ・互いに授業参観を行い、意見交換をするとともに、講師の方に指導助言をいただきながら改善を図る。
- (2) 地域の良さを生かした「ふれあい授業」を実践する
  - ・保護者や地域の方とともに学ぶ「ふれあい授業」を各教科・領域等で実践する。
  - ・各地区まちづくり検討委員会が作成した地域別計画を学習材に取り入れる。
  - ・地域の担い手としての自分の生き方を考える学習を実践する。
- (3) 地域との協働をめざした学校評議員会のあり方を研究する
  - ・学校評議員会の運営を改善し、学校づくりへの参画意識を高める。
  - ・ワークショップ型会議を行い、学校評議員会の協議内容を掲示、発信する。



### 3 事業の成果（裏面）

#### 4 事業のまとめ・次年度に向けて

子どもたちの学ぶ意欲の向上と多様な考え方を育むために、3つのグループがそれぞれ試行錯誤しながら取り組み、授業のユニバーサルデザイン化を図るための千代中スタンダードを生徒とともに作る素地ができた。次年度は、各グループのメンバーを入れ替え、今年度の成果を生かしながら新たな視点を取り入れることにより、研究をさらに充実させることが期待できる。

しかしながら、研究初年度ということもあり、保護者や地域の方、学校評議員会との連携を図ることがあまりできなかった。ユニバーサルデザインを考える上で、教職員以外の方々の視点も重要であり、横断的な学びの中にもヒントがあると思われる。地域の良さを生かしながらよりよいユニバーサルデザインのあり方を模索することが今後の課題である。

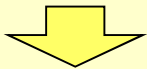
## 研究のねらい

子どもたちの学ぶ意欲の向上と多様な考え方を育むために、グループに分かれて授業のユニバーサルデザイン化を図る

### 説明グループ

<成果・課題>

- 掲示物を使わず、黒板に板書しながらの補足説明は、あまり理解できていなかったの、やはり掲示物の効果は大きい。
- 生徒がプリントに名前を書いている間に説明が始まってしまったので、手を止めさせてからの方が良かった。
- 体全体を使って動いた演技やプレーを客観的に観るために、ビデオや映像を使うことも有効かもしれない。



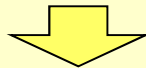
### 説明スタンダード

- 学習ポイントが明確になる伝え方をする
- 少ない言葉で具体的な指示を出す

### 板書グループ

<成果・課題>

- 板書と同じようにノートに写させるにはどうしたら良いのか。
- 黒板の周りに掲示物が貼っていないほうが、授業に必要な情報が少なくて良い。
- ねらい、目標、まとめがきちっと書かれていて、余計なことを書かずに必要なことのみが書かれているほうがよい。



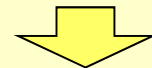
### 板書スタンダード

- 黒板には授業に必要なものは一切掲示しない
- 授業1時間分の板書は黒板1枚分とする
- 「本時の目標(めあて)」「本時のまとめ」を明確にする

### 教材グループ

<成果・課題>

- ワークシートの自由度はどこまでかわからない。
- 視覚も聴覚もバランスよく理解でき、さらに「自分で書く力」がうまくリンクしないと生徒は授業内容を理解できないのではないか。
- ヒントを与えすぎてもいけないし、手立てもしないといけないし、バランスがとても難しい。



### 教材スタンダード

- ねらいに沿った教具の活用をする
- 生徒の興味をひきつける教具を開発する

